

**1、この間の活動報告（幹事会報告） 別紙参照**

- 1) 7月13日 第5回幹事会
- 2) 8月09日 第6回幹事会

**2、75歳以上の医療費窓口負担2割化反対の取り組みについて**

- 1) シール投票について 別紙参照

**3、コロナ禍のもとで国保税・介護保険料の負担軽減を求める要請（鹿児島市長宛て）について**

- 1) 要求項目 別紙参照
- 2) 目標 5,000筆以上  
民医連・医療生協労組 4,500筆 県労連（コープ労組、建交労など）200筆  
医労連（全医労）100筆 自治労連（麦の芽など）50筆  
民商 100筆 新婦人 100筆 生健会 50筆 年金者組合 50筆 共産党 20筆  
民青 10筆 保険医協会 50筆
- 3) 取り組み期間 8月～10月末 11月提出予定

**4、国葬反対の取り組みについて**

- 1) 戦争法強行採決から7年 憲法違反の国葬はやめろ！ 9・19かごしま集会 別紙参照  
と き 9月19日（祝）14:00～14:45  
ところ 鹿児島市中央公園（宝山ホール側）
- 2) 憲法違反の国葬やめろ！9・27スタンディング行動  
と き 9月27日（火）12:00～12:30  
ところ 鹿児島市役所前
- 3) 憲法マラソン講座「故安倍晋三国葬儀」をどう見るか  
講 師 小栗 実さん（鹿児島大学名誉教授 憲法学）  
と き 2022年9月17日（土）14時～  
ところ かがしま県民交流センター 中研修室1 オンライン併用

## 県社保協 第5回(2022年7月)幹事会(報告)

日時：2022年7月13日【水】18:00～19:30

場所：鹿児島民商3階会議室

参加：重満忍、橋元高博、福丸裕子(以上共同代表)

日高 光雄(事務局長) 山内 太志郎、池田 勝久(以上事務局次長)

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、大田 裕美、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、丸野 武人

行田 義仁、富島 隆治(以上幹事)

堅山 清隆、村上 洋平(以上監査) カッコが参加者

### 【議題】

- 1、各団体活動報告(6～7月)及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、参議院選挙について
- 4、75歳以上の医療費窓口負担2割化反対の取り組みについて
- 5、水俣病被害者支援について
- 6、各分野別課題と今後の取り組みについて  
(国保、高齢者福祉・介護、障がい者(児)、子育て、年金、労働、生保など)
- 7、その他
  - 1) 日程について
  - 2) その他
- 8、ミニ学習会について

### 【事務局報告】

- 05月18日(水) 第4回幹事会
- 05月19日(木) ウクライナ侵略に抗議する5・19集会  
医療者アクション打ち合わせ
- 05月23日(月) 野党要請行動
- 05月24日(火) 県議会陳情
- 05月29日(日) 医療者アクション宣伝行動
- 06月07日(火) 市民の会幹事会 医療者アクション打ち合わせ
- 06月10日(金) 平和行進スタート 6/24まで
- 06月15日(水) いのちのとりで裁判

- 06月16日(木) 中央社保協九沖事務局長会議
- 06月18日(土) 県母親大会実行委員会
- 06月22日(水) 参議院選挙公示
- 06月30日(木) いの健かごしま幹事会
- 07月10日(日) 参議院議員選挙 投票日
- 07月12日(火) 市民の市政をつくる会幹事会 平和行進実行委員会

## 1、中央社保協報告について

### 1) 運営委員会報告

運営委員会報告がありました。

### 2) 中央社保協 第49回中央社会保障学校 from 千葉

2022年9月17日(土)13時～16時30分、18日(日)9時30分～16時終了

開催地 千葉 完全オンライン

### 3) 中央社保協 第66回全国総会

2022年8月3日(水) 11:00～16:30

山口事務局長、是枝事務局次長が総会を持って退任

九州ブロック運営委員 西村さん(福岡 民医連) ➡日高に変更

参加希望者は7/23までに日高まで連絡をお願いします。

## 2、各団体活動報告

生健会・・・いのちのとりで裁判

民医連・・・6/11 総会

県商連・・・適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施中止を求める意見書提出について(市議会請願)

その他、鹿児島市以外でも議会請願活動に取り組んでいる。

保険医協会・・・参議院選挙の取り組みについて紹介がありました。

県労連・・・

医労連・・・平和行進・原水爆禁止世界大会 7/19～21 日本医労連定期大会

自治労連・・・介護職員の処遇改善の取り組み等について報告がありました。

年金者組合・・・

民青同盟・・・

共産党・・・6月県議会について報告がありました。県立大島病院での紹介状のない特定初診料の改定について、7000円に引き上げられたとの報告がありました。

新婦人・・・参議院選挙の取り組みや憲法守る取り組みについて報告がありました。鹿児島工業高校等の門前で憲法リーフの配布やシール投票を行

ったこと等の報告（エピソードも含めて）がありました。

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・ 国保介護署名の取り組みや、6月市議会でのインボイス制度中止を求める活動、後期高齢者医療制度改善に向けた活動について報告がありました。

医療生協労組・・・ 無保険者の対応や新歓の取り組み等について報告がありました。

### 3、参議院選挙について

#### 1) 野党への要請行動

5月23日（月）、池田事務局次長と日高で立憲民主党、社民党、共産党の3党を訪問し、参議院選挙に向けた要請を行いました。

#### 2) 6月5日（日）、ALLかごしまの会と立憲野党間で共通政策調印式が行われ、候補者1本化が実現しました。

#### 3) 選挙結果 投票率 48.63%

非自民票は相対的に伸び、自民が得票数及び得票率も減らす結果となったが、野党共闘候補も得票率・票ともに減らした。候補者1本化は実現したものの、これまで積み上げられてきた市民と野党の共闘の発展ははかられず（?）、組織間の共闘はむしろ後退した感は否めない。この雰囲気は県民にも伝わり、与野党対決以外の候補者へ票が流れたのではないだろうか。

投票率は前回をわずかに超えたが、過半数には届かなかった。投票率を上げるためには市民と野党の真の共闘が県民にも伝わるぐらい盛り上げなければならないだろう。

野村 哲郎 自民現 78歳 291,169 (46.0%)

柳 誠子 立民新 61歳 185,055 (29.2%)

西郷 歩美 無新 37歳 93,372 (14.8%)

昇 拓真 参政新 32歳 47,479 (7.5%)

草尾 敦 N党新 53歳 15,770 (2.5%)

#### 【2019年参議院選挙 投票率 45.75】

尾辻 秀久（自民） 290,844 78歳（現在81歳） 保守分裂

合原 千尋（野党共闘） 211,301

前田 終止 112,063

#### 【2016年参議院選挙 投票率 55.86%】

野村 哲郎（自民） 438,499

下町 和三（野党共闘） 216,881

坂田 英明（無） 46,096

松沢 力 (幸福) 42,228

【鹿児島県議補選結果 投票率 45.24%】

岩重 礼 自民新 43歳 73,454

外城戸 昭一 自民新 61歳 48,066

森山 博行 国民新 57歳 35,560

松崎 真琴 共産元 64歳 34,221

原口 武義 無新 46歳 20,400

下鶴さん（現鹿児島市長）と柳誠子さんの議席が自民党へ取られてしまう結果となった。

4) 各団体の取り組みについて

保険医協会が候補者アンケートを実施

民医連はニュース発行

4、75歳以上の医療費窓口負担2割化反対の取り組みについて

1) 県議会への陳情については、不採択となりました。

県議会での経過等については、平良幹事より情報提供してもらったこととしました。

2) 今後の取り組みについて

①中央社保協からの要請に沿って対応します。

運動をリードする保険医協会や年金者組合などの取り組みは？

②集会・宣伝行動について

東京や神奈川などが集会・宣伝行動を準備しています。

10月の開始前に抗議集会又は宣伝行動を開催してはどうか？

次回幹事会で、引き続き協議することとしました。

5、水俣病被害者支援について

1) 2022年現地調査について

①日程・会場

2022年8月27日(土) 12:00 受付 13:00 開会 16:30 終了

～28日(日) 10:00～12:00

1日目 天草フィールド(水俣市内～海上タクシー) 宿泊:出水市

2日目 全体集会 阿久根市脇本公民館

②県内オルグについて

8月1日(月)

訪問時間 団体名

10:00～10:15 生協労連コープかごしま労働組合

10:30～10:45 鹿児島県労働組合総連合

- 11 : 00～11 : 15 日本共産党鹿児島県委員会
- 12 : 00～12 : 15 鹿児島医療生協労働組合
- 12 : 20～12 : 30 鹿児島県民主医療機関連合会
- 13 : 45～14 : 00 新日本婦人の会鹿児島県本部
- 14 : 00～14 : 15 国民救援会
- 14 : 30～14 : 45 保険医協会
- 15 : 00～15 : 15 建交労鹿児島県本部
- 15 : 30～15 : 45 鹿児島県商工団体連合会
- 16 : 00～16 : 15 鹿児島県医療労働組合連合会
- 16 : 00～16 : 15 かごしま公務公共一般労働組合（自治労連）
- 16 : 20～16 : 35 生活と健康を守る会

2) ノーモアミナマタ第2次訴訟について

- ①原告：熊本 1,424名 東京 86名 近畿 130名 新潟 150名（2022年6月現在）  
平均年齢 73歳 最高齢は 100歳 既に 190名超が亡くなっている。  
6月29日に追加提訴 57名（第14陣 内鹿児島県 51名）

- ②公正裁判署名：全国集約 423,326万筆（全国集約分）  
鹿児島県集約分 12,775筆（内民医連 7,518筆）  
30,000筆を目指し、今年の夏から秋にかけてオルグを強化する。  
自治体首長懇談や旧総評系組合や政党へも協力を要請する。  
署名推進と広報を強化するための組織づくりをすすめる。

- ③5月13日は医師2名への反対尋問。裁判長と左陪席が交代しての初の公判。  
6月15日は高岡医師への証人尋問。8～9月は被告側医師証人尋問。10月～2023年3月まで原告本人尋問。2023年7月結審予定。  
近畿訴訟は9月26日に水俣で進行協議（現地検証）が行われる。2022年12月21日結審、2023年春判決予定。

6、各分野別課題と今後の取り組みについて

1) いのちのとりで裁判について

- 5月の熊本地裁に続き、6月の東京地裁でも勝利判決がありました。  
署名の推進と傍聴にご協力をお願いします。  
次回期日 9/12（月）14 : 30

2) 憲法と平和を守るたたかいについて

- ①九条医療者の会総会・記念講演  
8月15日（月）14 : 00～15 : 30 よかセンター
- ②原水爆禁止国民平和大行進・原水爆禁止世界大会  
平和行進 6/10～6/24

8月4日 開会総会

8月4日～5日 国際会議

8月6日 ヒロシマデー集会（グリーンアリーナ）オンライン併用

8月9日 ナガサキデー集会（市民会館・文化ホール）オンライン併用

8月6・9日に、県原水協で6・9行動を行うことが報告されました。

③鹿児島を戦場にさせない県民の会 発足総会・講演会

7月23日（土）14：00～ 県労働福祉会館7階ホール

3) 国保・介護署名について

毎年、県社保協と市民の市政をつくる会の連名で取り組んでいる国保・介護署名を8月から取り組みます。

① 要求項目

② 目標 5,000筆以上 以下を目安に取り組みをお願いします

民医連・医療生協労組 4,500筆 県労連（コープ労組、建交労など）200筆

医労連（全医労）100筆 自治労連（麦の芽など）50筆

民商 100筆 新婦人 100筆 生健会 50筆 年金者組合 50筆 共産党 20筆

民青 10筆 保険医協会 50筆

③ 取り組み期間 8月～10月末 11月提出予定

4) その他

①市政報告会

7月23日（土）14：00～16：00 老人福祉会館

②鹿児島県母親大会

9月25日（日）10：00～15：00 午前：分科会 午後：全体会

国際交流センター

## 7、その他

1) 鹿児島市社保協解散に伴う財産の分配について

別紙にあるように、鹿児島市社保協の財産を市民の市政をつくる会、鹿児島県社保協、鹿児島医療生協労組で分配しました。

## 8、ミニ学習会

1) 次回学習会テーマ「

」

【日程】

次回幹事会日程（案）8月9日（火）18：00～



## 県社保協 第6回(2022年8月)幹事会(報告)

日時：2022年8月9日【火】18:00~19:30

場所：鹿商連事務所 2階会議室

参加：重満忍、橋元高博、福丸裕子(以上共同代表)

日高 光雄(事務局長) 山内 太志郎、池田 勝久(以上事務局次長)

有水 千尋、祝迫 加津子、長野 誠、谷口 優子、大田 裕美、平良 行雄

高岡 茂、有馬 裕子、平田 優、福元 秋信、松崎 真琴、丸野 武人

行田 義仁、富島 隆治(以上幹事)

豎山 清隆、村上 洋平(以上監査) カッコが参加者

### 【議題】

- 1、各団体活動報告(7~8月)及び中央社保協報告について
- 2、各加盟団体からの報告について
- 3、75歳以上の医療費窓口負担2割化反対の取り組みについて
- 4、水俣病被害者支援の取り組みについて
- 5、各分野別課題と今後の取り組みについて  
(国保、高齢者福祉・介護、障がい者(児)、子育て、年金、労働、生保など)
- 6、その他
  - 1) 日程について
  - 2) その他
- 7、ミニ学習会について

### 【事務局報告】

- 7月16日(土) 県母親大会実行委員会 鴨池公民館
- 7月23日(土) 鹿児島を戦場にさせない県民の会発足総会 労働福祉会館
- 7月30日(土) 市政県政報告会 老人福祉会館
- 8月01日(月) ミナマタ現地調査オルグ
- 8月02日(火) 市民の市政をつくる会幹事会 鴨池公民館
- 8月03日(水) 中央社保協全国総会
- 8月05日(金) 鹿児島市議会総務環境委員会(インボイス中止請願) 8/18に延期
- 8月06日(土) ヒロシマデー 6・9行動
- 8月09日(火) ナガサキデー

## 1、中央社保協報告について

### 1) 運営委員会報告

別紙参照

### 2) 中央社保協 第49回中央社会保障学校 from 千葉 別紙参照

2022年9月17日(土)13時～16時30分、18日(日)9時30分～16時終了

開催地 千葉 完全オンライン

### 3) 中央社保協 第66回全国総会

2022年8月3日(水)11:00～16:30

### 4) いのち暮らし社会保障立て直せ一斉行動 幹部政策学習会

日時:2022年8月10日(水)13時30分～17時00分 youtube 配信

講演テーマ「政府がすすめる社会保障の解体の狙いと、それに対抗する闘いの展望」

講師:長友薫輝氏(佛教大学准教授)

中央社保協のHP「新着情報」から視聴可能

## 2、各団体活動報告

生健会・・・

民医連・・・

県商連・・・インボイス制度請願について

保険医協会・・・交付金の活用等について

県労連・・・

医労連・・・

自治労連・・・

年金者組合・・・

民青同盟・・・原水爆禁止世界大会について

共産党・・・

新婦人・・・高校生の絵展について 奄美視察について

霧島市社保協・・・

市民の市政をつくる会・・・統一協会問題 国葬問題シール投票について

## 3、75歳以上の医療費窓口負担2割化反対の取り組みについて

### 1) 宣伝行動について

対象となる方も含め、制度への理解が乏しいのではないかと。突如負担割合証が届き驚かれる方も少なくないと思われます。

よって、宣伝行動とセットでシール投票を計画したいと思います。

以下のようにシール投票を行うことを確認しました。(チラシ参照)

保険医協会や年金者組合など、各加盟組織から積極的な参加をお願いします。

○日時：9月10日（土）12：00～13：00

○場所：天文館アーケード

○シール投票の内容

・10月1日から、75歳以上で一定収入以上の方について医療費窓口負担が1割負担から2割負担（2倍）になることをご存じですか。

知っている 知らない

・医療費の窓口負担が増えることに  
賛成 反対 しかたがない

○青潮会を通じて、マスコミに案内します。

2) 10月以降の取り組みについて

中央社保協からの提起に添って、改めて提起します。

4、水俣病被害者支援について

1) 2022年現地調査について

①日程・会場

2022年8月27日（土）12：00受付 13：00開会 16：30終了  
～28日（日）10：00～12：00

1日目 現地調査 宿泊：出水市（希望者は日高まで）

2日目 決起集会 阿久根市脇本公民館  
各団体の派遣予定・・・日高（民医連）

2) ノーモアミナマタ第2次訴訟について

①原告：熊本1,424名 東京86名 近畿130名 新潟150名（2022年6月現在）  
平均年齢73歳 最高齢は100歳 既に190名超が亡くなっている。

6月29日に追加提訴57名（第14陣 内鹿児島県51名）

②公正裁判署名：全国集約423,326万筆（全国集約分）

鹿児島県集約分12,775筆（内民医連7,518筆）

30,000筆を目指し、今年の夏から秋にかけてオルグを強化する。

自治体首長懇談や旧総評系組合や政党へも協力を要請する。

署名推進と広報を強化するための組織づくりをすすめる。

③5月13日は医師2名への反対尋問。裁判長と左陪席が交代しての初の公判。

6月15日は高岡医師への証人尋問。8～9月は被告側医師証人尋問。10月～2023年3月まで原告本人尋問。2023年7月結審予定。

近畿訴訟は9月26日に水俣で進行協議（現地検証）が行われる。2022年12月21日結審、2023年春判決予定。

5、各分野別課題と今後の取り組みについて

1) いのちのとりで裁判について

5月の熊本地裁、6月の東京地裁と勝利判決が続きましたが、仙台地裁では原告敗訴となりました。鹿児島地裁では、今年度より右陪席、左陪席が交代となり、この1～2年で結審となる見通しです。署名の推進と傍聴にご協力をお願いします。

次回期日 9/12 (月) 14:30

2) 憲法と平和を守るたたかいについて

①九条医療者の会総会・記念講演

8月15日(月) 14:00～15:30 よかセンター

3) 国保・介護署名について

毎年、県社保協と市民の市政をつくる会の連名で取り組んでいる国保・介護署名を8月から取り組みます。

① 要求項目 別紙参照

② 目標 5,000筆以上 以下を目安に取り組みをお願いします

民医連・医療生協労組 4,500筆 県労連(コープ労組、建交労など) 200筆

医労連(全医労) 100筆 自治労連(麦の芽など) 50筆

民商 100筆 新婦人 100筆 生健会 50筆 年金者組合 50筆 共産党 20筆

民青 10筆 保険医協会 50筆

下線以外は市民の市政をつくる会の加盟団体(地方組織含め)のため、市民の市政をつくる会に集約してください。下線の団体は県社保協に集約。

署名用紙は、各団体にメールで送付しますので、各団体で印刷をお願いします。

③ 取り組み期間 8月～10月末 11月提出予定

4) その他

① 川内原発20年延長反対集会

8月21日(日) 13:00～15:30 川内駅前広場 集会後市街地パレード

② 鹿児島県母親大会

9月25日(日) 10:00～15:00 午前:分科会 午後:全体会

国際交流センター

## 6、その他

1) 国葬問題シール投票

8月11日(祝) 11:30～ 天文館

## 7、ミニ学習会

1) 次回学習会テーマ「

」

【日程】

次回幹事会日程(案) 10月4日(火) 18:00～

## シール投票の結果について（日高私案）

### 1、実施日・場所

2022年9月10日（土）12：00～13：00

天文館アーケード（献血プラザ前）

### 2、投票項目と結果

1) 10月1日から、一定収入以上ある75歳以上の高齢者の医療費(病院) 窓口負担が1割から2割（2倍）になることをご存じですか。

知っている33名（63.5%） 知らない19名（36.5%）

2) あなたは医療費の窓口負担が上がることに賛成ですか？

賛成0名（0%） 反対56名（98.2%） どちらでもない1名（1.8%）

3) あなたは、昔、高齢者の医療費窓口負担が無料だった事を知っていますか？

知っている20名（46.5%） 知らない23名（53.5%）

### 2、考察

今回シール投票では、10月1日から始まる75歳以上医療費窓口負担2倍化を知っている方は、全体の63.5%となりました。但し、知っていると答えた方でも、ご自分や家族が2倍化の対象であるかどうかは知らないケースも見られ、制度の周知が十分にされている感じは受けませんでした。

また、医療費の窓口負担が上がることに対しては「賛成」が0名となりました。医療費窓口負担が上がることに対しては、圧倒的に反対の声が多く、お金の心配なく医療機関を受診したい県民の声はかなり高いことがうかがえました。

「昔、高齢者の医療費窓口負担が無料だった事を知っているか」の問いについては、「知らない」が「知っている」をわずかに上回りました。この間政府は、世代間に対立をつくり、「公平」の名のものに、制度改悪を進めてきました。社会保障の変遷やたたかひの歴史なども、広く県民に知らせ、対立ではなく「団結」して（たたかう相手は国民同士ではなく政府にあること）、社会保障の改善に取り組むことの重要性を改めて認識しました。





# 鹿児島県社保協ニュース NO1

発行:鹿児島県社保協 2022年9月12日

## 75歳以上医療費2倍化を問うシール投票

### 医療費窓口負担が上がること 圧倒的多数が反対

去る9月10日、鹿児島市の天文館アーケードで、県社保協主催の「75歳以上医療費2倍化を問うシール投票」を行いました。

昨年6月、高齢者をはじめ多くの国民が反対する中、75歳以上の医療費窓口負担2割化法が国会で可決成立し、いよいよ来月から、この法律が施行されるのを前に行ったものです。今回2割化となる方は全国で約370万人、鹿児島県でも全体の7人にひとり、3万8千人が対象となります。

国は「現役世代と負担を公平化する」として、今回の2倍化が決まりましたが、現役世代の負担軽減効果はわずか月額約30円であることが明らかとなりました。これで、現役世代の負担軽減になるでしょうか。また、年収200万円以上となっている2割負担の対象者を、今後、国会の審議を経ることなく政令によって引き下げることができることから、現在1割の方も2割に引き上がる可能性が十分にあります。

鹿児島県社保協では、シール投票の結果を、県議会等に知らせ、引き続き「中止」「延期」を求めて活動を継続していく予定です。引き続き、皆さんのご協力をお願いします。

協力をお願いします。

#### 1、窓口負担が1割から2割（2倍）になることをご存じですか。

知っている33名（63.5%） 知らない19名（36.5%）

#### 2、あなたは医療費の窓口負担が上がることに賛成ですか？

賛成0名（0%） 反対56名（98.2%） どちらでもない1名（1.8%）

#### 3、あなたは、昔、高齢者の医療費窓口負担が無料だった事を知っていますか？

知っている20名（46.5%） 知らない23名（53.5%）



今回のシール投票で、「昔、高齢者の医療費窓口負担が無料だった事を知っているか」を聞きました。結果は「知らない」が「知っている」をわずかに上回りました。この間政府は、世代間に対立をつくり、「公平」の名のものの、制度改悪を進めてきました。社会保障の変遷やたかひの歴史なども、広く県民に知らせ、対立ではなく「団結」して（たかひ）相手は国民同士ではなく政府にあること、社会保障の改善に取り組むことの重要性を改めて認識しました。

今年10月1日  
より実施予定

75歳以上の医療費窓口負担2倍化を問う

# 「シール投票」を実施します

75歳以上で一定収入以上の人の医療費窓口負担が、今年10月1日より2割に引き上げられます。国は「現役世代と負担を公平化する」としていますが、1割負担の現在でも家計に占める医療費窓口負担は現役世代の1.7倍と高く、昨今の物価高等もあって、受診を控える人は結構数いると思われれます。このまま2割負担になれば、高齢者の受診控えはさらに広がり、手遅れになってしまいう方も増大しかねません。このような重大な問題でありながら、県民にはあまり知らされていないように感じます。

鹿児島県社保協は、これらを広く県民に知らせるとともに、県民の賛否を明らかにするために、下記のようにシール投票を行うこととしました。県民のいのちと健康を守るための行動に是非ご参加ください。

日時 **9月10日(土)12:00~13:00**  
場所 **天文館アーケード(献血プラザ前)**

ご存じですか？ 今年には保険証がまた届きます  
今年9月に、10月1日以降の「後期高齢者医療被保険者証」が届きます。一定収入以上の方は一部負担金の割合が2割になります。保険証が届いたらまずは確認を！

## 後期高齢者医療被保険者証

被保険者番号 01234567 有効期限 令和7年7月31日  
住所 鹿児島市鴨池新町98765

氏名 桜島 美香 性別 女  
生年月日 昭和19年4月2日  
被保険者開始日 平成31年4月2日  
発効期日 平成31年4月2日 発効日 令和元年8月1日  
一部負担金の割合 **必ずチェックを**

保険者番号 39460000  
保険者名 鹿児島県後期高齢者医療広域連合

見本





# 高齢者の医療費(病院)窓口負担2倍化反対 当面、10月からの2倍化は中止又は延期を

## その昔、老人医療費(自己負担)は無料でした

県民の皆さん、  
現在、75歳以上の高齢者の、医療費窓口負担は、現役並みの所得者を除き1割負担となっています。そして、来月から一定収入以上の人の医療費窓口負担が、2割に引き上げられます。  
しかし、今から約50年前の1973年(昭和48年)から約10年間、老人医療費の自己負担分を老人福祉法で負担するという形で、**医療費窓口負担(自己負担)が無料**がありました。その後、1983年(昭和58年)に老人保健法を施行され、高齢者の自己負担の定額制が始まりましたが、その金額はわずかなものでした。そして、2002年(平成14年)からは、1割負担の定率(上限あり)となり、その負担は年々増加していきま

## 高齢者を敬う社会の実現を

県民の皆さん、まもなく敬老の日を迎えます。敬老の日とは、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ために設けられた祝日です。しかし、医療費2倍化は高齢者を敬うどころか、政府による高齢者いじめそのものです。私たちは、高齢者が安心して暮らせる社会づくりを目指しています。

現在の医療費の自己負担割合

	年齢	自己負担割合
健康保険 国民健康保険	小学校入学前	2割
	小学校入学後～69歳	3割
	70歳～74歳	2割
後期高齢者医療制度*	75歳以上	1割
		3割(現役並み所得者のみ)※

(出典)厚生労働省「我が国の医療保険について」を参考に作成  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iryuuhoken/iryuuhoken01/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuhoken/iryuuhoken01/index.html)  
 ※ 65歳以上74歳以下で、一定以上の障害があること認定を受けた方も、後期高齢者医療制度への加入を選択することができま

75歳以上の医療費自己負担割合(2022年後半以後)

年金収入+その他の合計所得金額	自己負担割合(現状)	自己負担割合(改正後)
200万円未満 (世帯内に後期高齢者が2人以上の場合は320万円未満)	1割	1割
200万円以上383万円未満 (世帯内に後期高齢者が2人以上の場合は320万円以上520万円未満)	1割	2割
383万円以上 ※現役並み所得者 (世帯内に後期高齢者が2人以上の場合は520万円以上)	3割	3割

(出典)厚生労働省「後期高齢者の窓口負担割合の見直しについて」をもとに作成  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000720039.pdf>

# ご存じですか? 一定の収入のある75歳以上の方は、 医療費窓口負担が、今年の10月1日から2割になります。

県民の皆さん、今年10月から75歳以上で一定収入以上の人の医療費窓口負担が、2割に引き上げられます。国は「現役世代と負担を公平化する」としていますが、高齢者は様々な病気を抱え、複数の病院にかかっている方も多く、家計に占める医療費の割合は、非常に高くなっています。これ以上の引き上げは更なる受診控えを招きかねません。

私たち県社保協は、この間、75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対し、署名活動や県議会への陳情活動を行ってきました。しかし、鹿児島県議会は、私たちの出した「75歳以上の高齢者（後期高齢者）の医療費窓口負担を2割にしないことを国に求める意見書提出に関する陳情書」を、全く議論しないうままに不採択としました。鹿児島県は、高齢者のいのちと健康をこれからどう守っていくのでしょうか。

県民の皆さん、消費税はこの10年間で2倍に上がり、物価の高騰や年金の切り下げ、コロナによる収入減など、生活は苦しくなるばかりです。せめて病院ぐらいは、お金の心配をせずに行きたいと思いませんか。

皆さんのシール投票へのご協力をお願いします。

## ご存じですか? 今年は保険証がまた届きます

今年9月に、10月1日以降の「後期高齢者医療被保険者証」が届きます。一定収入以上の方は一部負担金の割合が2割になります。保険証が届いたらまずは確認を!

## 後期高齢者医療被保険者証

被保険者番号 [ ] 有効期限 令和 [ ] 年7月31日

住 所 鹿児島市鴨池新町 [ ]

氏 名 [ ] 性 別 女  
生年月日 昭和19年4月2日

資格取得年月日 [ ] 年4月2日

発効期日 [ ] 年4月2日 交付年月日 令和 [ ] 年8月1日

一部負担金の割合 1割

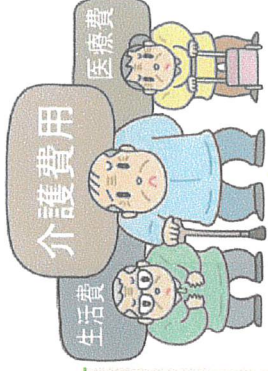
必ず子エックを

保険者番号 [ ]

保険者名 鹿児島県後期高齢者医療広域連合



見 本



## コロナ禍のもとで国保税・介護保険料の負担軽減を求める要請

2020年4月、本市で最初の陽性者が発生し、今も尚、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、国保税及び介護保険料の負担を軽減し、安心して医療や介護を受けられるようにすることが必要です。

私たちの要請に答えて、2022年度も国保税を引き上げず、第8期（令和3年度～5年度）の介護保険料の基準額（年 74900 円）も引き上げなかったことは評価しますが、年金削減や物価高騰の影響は、市民生活を圧迫しており、国保税及び介護保険料の引き下げを要請します。

国保税を引き下げのために、県が貯めこんでいる約72億円の基金を活用して、本市が県に納める「納付金」を減らして、国保税を引き下げることが可能です。

また介護保険料（65歳以上）を引き下げのために、本市の介護給付費準備基金、約50億円を活用して、介護保険料を引き下げることが可能です。

そして、感染拡大がつづくコロナ禍の下で、新型コロナ感染症対応臨時交付金の予算（約18億円）を活用して、国保税及び介護保険料の減免の適用をうける対象を広げる制度拡充に取り組んでください。また、長期の滞納があるため、国民健康保険証が交付されず、病院窓口で10割負担となる「資格証明書」の発行を中止し、新型コロナ陽性者に限定しないで、全ての被保険者が治療を受けられるようにして下さい。

さらに年金削減により介護保険料の負担感が強まる中、税や介護保険料の負担軽減につながる「障害者控除対象者認定書」の交付者数が、1022人（2021年度、3.0%）に留まっており、交付対象となる本市の要支援・要介護の高齢者（約3万4千人）全員に対して、認定書を交付してください。

つきましては、賛同署名を添えて、下記の点を要請します。

### 【要請項目】

- 1、2023年度において、国保税、介護保険料を引き下げのための施策を講じること。
- 2、コロナ禍の下で、国保税、介護保険料の減免対象を広げるための拡充を図ること。
- 3、コロナ禍の下で、10割負担となる国民健康保険の資格証明書の発行を中止すること。
- 4、障害者控除対象者認定書を、対象者全員に交付し、税と介護保険料の負担軽減を図ること。

氏 名	住 所

### 【取扱い団体】

市民の市政をつくる会

鹿児島市南林寺町 22-15

鹿児島県社会保障推進協議会

鹿児島市谷山中央 5-4-12

# 新型コロナの影響で「医療・介護の利用が減少」した結果・・・

## 基金を活用して国保税・介護保険料の引下げを！

新型コロナの影響で、病院の受診抑制や介護サービスの利用抑制が続いた結果、医療及び介護の保険給付費の支出が大幅に減少して「黒字」となり、その残高が「基金」として貯め込まれています。国保税は、平成30年度から、県が財政責任を担っていることから、県が「国保財政安定化基金」として貯め込んでいます。介護保険料は、第8期計画（令和3年度～5年度）が進行中ですが、「介護給付費準備基金」として貯め込んでいます。令和3年度末の基金残高は、下記の通りですが、国保税は、基金を活用して、市が県に納める「納付金」を減らせば、国保税を引下げることが可能です。介護保険料も、基金を活用して、介護保険料を引下げることが可能です。

### 令和3年度末の基金残高

国保税（県国保財政化安定基金）・・・72億2000万円

介護保険料（市介護給付費準備基金）・・・50億1189万円

## 国保税・介護保険料の減免制度の拡充を！

新型コロナ  
物価高騰  
生活困難

コロナ禍の下で、今年の収入が前年より3割以上減少する見込みの場合、国保税と介護保険料を減免する特例制度が実施されています。しかし利用者が減少しています。その要因として、コロナが発生していない令和元年の収入と、比較しないことや、前年収入の中に、事業支援金等の収入を加えていないことが考えられます。市独自にこれらの問題を解決し、減免制度を利用できるようにすべきです。

## コロナ禍の下で資格証明書＝無保険の市民を無くしましょう！

横浜市のように資格証明書（10割負担）の発行中止を

### 税と介護保険料の軽減につながる障害者控除対象者認定制度

障害者手帳が無い方でも、要支援・要介護認定の方で一定の基準に合えば、税を控除できる認定書を市が交付します。鹿児島市は3万人以上の対象者がいます。霧島市では、申請しなくても、対象者全員に認定書を交付しています。

霧島市のように障害者控除対象者認定書を全員に交付を！



# 憲法壊すな 戦争法廃止！ かごしまの会 ニュース

2022年9月20日

## 戦争法強行採決から7年 憲法違反の国葬はやめろ！9・19かごしま集会に40名が参加

去る9月19日、鹿児島市の中央公園で、戦争法強行採決から7年「憲法違反の国葬はやめろ！9・19かごしま集会」が行われ、40名が参加しました。

9月19日は、7年前、安倍晋三元首相が安保法制（戦争法）を強行採決した日です。「戦争法反対」「立憲主義を守れ」の声が国会周辺で、そして日本列島の津々浦々で響き渡りました。その後、毎年9月19日には、市民と野党の共闘で集会が行われてきました。

今年の集会では、9月27日に安倍元首相の国葬が行われることに対して、「憲法違反の国葬はやめろ！」、「岸田は国会を開け、岸田は国民の声を聴け、国葬に国民の血税を使うな」と訴えました。集会には、立憲民主党の川内博史さんは残念ながら、台風の影響で欠席となりましたが、日本共産党の松崎真琴さん、社会民主党の川路孝さんがそれぞれ発言に立ち、憲法と民主主義を守ろうと呼びかけられました。

最後に、「私たちは安倍晋三元首相が壊し続けてきた憲法と民主主義を守るため、「国葬」に強く反対します。平和と民主主義を守る県民の運動をさらに発展させ、憲法を蹂躪する政治を終わらせましょう。」のアピールを参加者全員で確認し、シュプレヒコールとプラカードアクションで締めくくりました。

岸田内閣の支持率も、毎日新聞の調査で30%を割り込み、解散総選挙の機運が高まっています。引き続き、憲法守れの声を上げていきましょう。

最後に、「私たちは安倍晋三元首相が壊し続けてきた憲法と民主主義を守るため、「国葬」に強く反対します。平和と民主主義を守る県民の運動をさらに発展させ、憲法を蹂躪する政治を終わらせましょう。」のアピールを参加者全員で確認し、シュプレヒコールとプラカードアクションで締めくくりました。

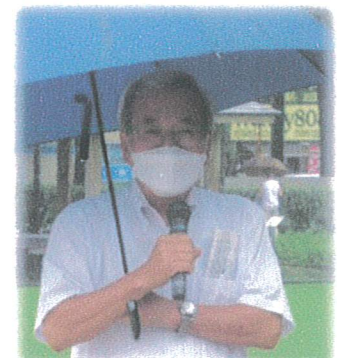


左上 憲法守ろうピースアクション 谷山やよいさん



右上 日本共産党 副委員長 松崎真琴さん

右下 社会民主党 代表 川路 孝さん



## 憲法違反の国葬やめろ！9・27 スタンディング行動

とき 9月27日(火)12:00~12:30

ところ 鹿児島市役所前

## かごしま九条の会 第71回 憲法マラソン講座のご案内

7月の参議院選挙の応援演説中に銃で撃たれて亡くなった安倍元首相の葬儀について、政府は、歴代最長の期間、総理大臣の重責を担い、内政・外交で大きな実績を残したなどとして、7月22日の閣議で、9月27日に日本武道館で国葬を行うことを決めました。しかし、その後の地元南日本新聞の世論調査では、右のように「反対」、「どちらからか」といえば反対」が7割を超え、岸田政権の支持率も急落しています。多くの国民がコロナで苦しむ中、国民の血税を法的根拠もない国葬に使うなど、絶対に許されません。つきまして、下記のように憲法マラソン講座を開催します。皆様の参加をお待ちしております。

テーマ：「故安倍晋三国葬儀」をどう見るか」

講師：小栗 実さん(鹿児島大学名誉教授 憲法学)

期日：2022年9月17日(土)14時～

会場：かごしま県民交流センター 中研修室1 オンライン併用

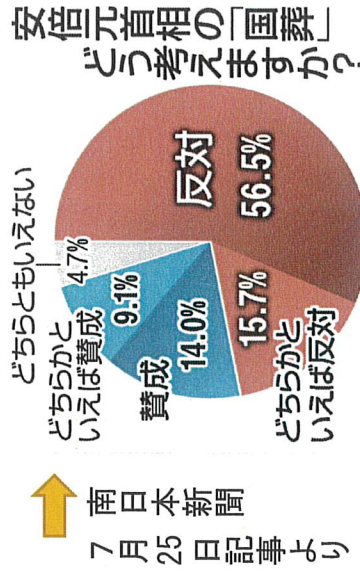
オンラインでの参加を希望される方は、以下のメールアドレスに、氏名と連絡先を記入してお送りください

[k-9jo@kagoshima-min.jp](mailto:k-9jo@kagoshima-min.jp)

参加費：無料 (どなたでも参加できます)

※憲法マラソン講座の終了後、かごしま九条の会の幹事会を開催します。

お問い合わせ先：かごしま九条の会 TEL 099-266-3371 FAX 099-266-1530



- お願い
- 体調のすぐれない方の参加はご遠慮ください。
- 参加の際は、マスクの着用をお願いします。